

2024年度 後藤新平の会

後藤新平の 劇曲『平和』

初上演 & シンポジウム



「黄禍」を世界に知らしめた寓意画。右の仏陀が東洋を象徴し、当時のヨーロッパの警戒心を端的に表している。

後藤新平が訴えた「平和」を、いま、我々はどう受け止めるか？

1912年、第一次世界大戦前夜——。欧米列強が勢力を競い、

日露戦争後の日本が「黄禍論」にさらされるなかで、後藤新平は、世界情勢を“鎧をつけた平和”と見抜き、
気鋭の詩人・平木白星に託して劇曲（音楽劇）『平和』を生み出した。

この埋もれた劇曲の上演を目指してきた演出家 笠井賢一が、東西の音楽に精通する作曲家 佐藤岳晶と
日本を代表するカウンターテナー村松稔之を迎え、熟達俳優と共に劇曲『平和』の初上演を実現、世に問う。

〈シンポジウム登壇者〉

榎木孝明 俳優

小倉和夫 元駐仏・駐韓大使

伏見岳人 東北大学教授

橋本五郎 読売新聞特別編集委員
(コーディネーター)

2024年5月31日(金)

15:00～ 第18回「後藤新平賞」授賞式

17:00～ 後藤新平の劇曲『平和』&シンポジウム

◎内幸町ホール(定員188名・要申込)

◎自由席 4,000円(授賞式無料)

◎問合せ・申込:藤原書店 TEL03-5272-0301

後藤新平案・平木白星稿

劇曲『平和』

2024年、再び世界が戦争の影におおわれる今、
110年前に後藤新平が意図した世界平和への道筋が提示された
劇曲『平和』の世界に観客を誘い、「平和」とは何かと問いかける。

(あらすじ)

「誘惑者」が平和の虚偽を暴き、人々を戦に向かわせようとたぶらかす。

ここは天上界の平和大主神の御座、平和を謳歌する音楽が流れるなか、人間界から列強国を代表する4人の女性が訪れ、万国平和会議の成果を報告するうち、誘惑者にそそのかされ、自国の手柄を言い立て争いになる。その混乱に乗じて誘惑者は「平和の新経」を平和大主神に戯れ歌とともに提示、その欺瞞性を見破られるが、懲りずに言葉巧みに誘惑しようとする。平和大主神は誘惑者の口を封じ、末の王子を平和の使者として人間界に遣わす。

所変わって西洋とアジアの境界—黄禍論の絵のような—、誘惑者は口を封じられ、かわりに楽器の音や妖しい文字で人々をたぶらかすが...

構成・演出 笠井 賢一

演出助手・振付 なかえ えみ

照明 八木沢 淳

舞台監督 島本 和人

作曲・演奏・音楽監督 佐藤 岳晶

演奏 打ちもの 橋 政愛

” 吹きもの 設楽 瞬山

衣裳 細田ひな子

” オノ マヒロ

出演 平和大主神 國府田達也

誘惑者 高橋 和久

天の子1 東金ミツキ

天の子2 日高恵梨子

天の子3 宮坂 公子

天の子 第七王子(大和) 村松 稔之

童子 なかえ えみ

緑衣の女 坪井 美香

紫衣の女 戸室加寿子

赤衣の女 櫻井 千恵

青衣の女 宮坂 公子

鎧える女(ブリタニカ) 金子 あい

後藤新平 (1857-1929) 水沢 (現岩手県奥州市) 生まれ。内務省衛生局長として頭角を現し、台湾民政長官、満鉄総裁、逓相・内相・外相・東京市長を歴任。関東大震災後は帝都復興院総裁として復興に尽力。晩年は「政治の倫理化」を訴えた。

平木白星 (1876-1915) 雑誌『明星』で「詩は白星」と讃えられた詩人。後藤新平逓相のもとで大臣官房監察課員をつとめ、郵便官吏としては「香水郵便」を発明した。

2024年 5月31日(金)

15:00～ 第18回「後藤新平賞」授賞式 (14:30 開場・入場無料)

17:00～ 後藤新平の劇曲『平和』&シンポジウム (16:30 開場・自由席 4,000 円)

○会場 内幸町ホール 〒100-0011 千代田区内幸町1-5-1 Tel.03-3500-5578

○お申込 藤原書店 TEL 03-5272-0301 FAX 03-5272-0450
info@fujiwara-shoten.co.jp

※電話・FAX・メールにて住所・お電話番号・人数をご連絡のうえ、郵便振替口座にご入金ください。入金を確認でき次第、折り返し入場券をお送りします。

郵便振替口座 00100-4-537717 後藤新平の会

詳しくは「後藤新平の会」ウェブサイト <https://goto-shimpei.org/>

○主催 後藤新平の会／藤原書店

○協賛 公益財団法人上廣倫理財団／公益財団法人京葉鈴木記念財団／ 日本郵政

「後藤新平の会」とは

2005年7月創立。後藤新平の業績を正しく評価し、その遺産を継承・発展させてゆくため、研究活動と会報発行、イベント開催を行う。2007年から毎年「後藤新平賞」贈呈。



交通アクセス

- 三田線「内幸町」A5出口～徒歩5分
- 銀座線・浅草線「新橋」7出口～徒歩5分
- JR「新橋」日比谷口～徒歩5分